

医療法人社団玄同会小島病院における
医師の負担軽減および処遇の改善に関する取組事項

当院では医師の負担軽減および処遇改善のため、下記の項目について取り組みを行っております。

1. 医師と医療関係職種、医療関係職種と事務職員等における役割分担

- ・ 電子カルテシステムを導入し、代行入力仕組みを整えています。
- ・ 栄養サポート、緩和ケア、認知症ケア等のチーム医療を推進しています。
- ・ クリティカルパスを推進しています。
- ・ 看護師による初診時等の予診、静脈採血や点滴ラインの確保、ワクチン接種、入院時説明等を実施しています。その他、医療ソーシャルワーカーと共同で退院時支援も行っています。
- ・ 薬剤師による服薬指導、病棟における薬剤管理、薬剤投与の設計支援等を実施しています。
- ・ 造影検査の際に医師や看護師が確保した静脈路への造影剤接続や注入・確認・抜針などを診療放射線技師により実施しています。
- ・ 臨床検査技師により頸動脈エコーや心エコー検査を実施しています。
- ・ 理学療法士や作業療法士、言語聴覚士により身体機能等の評価を行い、リハビリテーションに関する各種書類の作成や説明・書類交付等を実施しています。また訓練実施時等に喀痰吸引が可能な療法士を育成しています。
- ・ 管理栄養士により栄養管理計画の実施や栄養食事指導を実施しています。
- ・ 医療ソーシャルワーカーにより転院受入の調整や退院支援の実施、患者やその家族等に対しての受診受療援助などを行っています。
- ・ 医師事務作業補助者を配置し、各種医療文書作成の補助や診察時の代行入力を行っています。
- ・ 看護補助者や病棟クラークのほか、検査科や放射線科、薬剤科に専属の助手を配置しています。

2. 医師の勤務体制等に係る取り組み

- ・ 医師の増員に向けて、各大学医局への医師派遣依頼等を行っています。
- ・ 常勤医の当直回数の削減や連続当直を行わない勤務体制を実施しています。
- ・ 勤務間インターバルを確保し、当直明けの勤務に対する配慮を行っています。
- ・ 院内託児所を完備し、女性医師の勤務環境整備に努めています。

2018 年 4 月 作成

2023 年 4 月 改訂

病院長